

令和5年度
第1回 大野市文化財保護審議会
会 議 録

日 時 令和5年5月30日（火）13：30～14：30
場 所 学びの里「めいりん」 2階 洋室（中）

大野市文化財保護審議会

- 出席者 ○委員 6名
 ○事務局 5名

教育長あいさつ

本日、台湾からの団体客が本市を訪問してくれている。国際的にも大野市が「行きたい所」になってくれたら嬉しい。

令和元年6月に福井県女性教育委員の会の会議が本市で行われ、武家屋敷旧内山家を視察いただいた。先日、その参加者と話をしたところ、当時のことを覚えておられ、会議をきっかけとして大野市のファンになり、今春も私用で本市を訪問してくれていたらしく、大変嬉しく感じた。

生涯学習・文化財保護課の業務は、「大野市文化財保存活用地域計画」と「大野市生涯学習推進計画」で評価を行う。目標を立て、両計画の推進を着実にやっていく。

今年度も、厳しい目で地域計画の進捗をチェックしていただき、市の文化財や伝統を守っていききたい。

事務局職員の紹介

会長あいさつ

天候の不順が続いている。

先日、オンライン会議に臨んだが、会議に参加している実感が湧かず、馴染まなかった。こうして顔を見合わせた会議の方が、臨場感があって良い。

協議事項

1 年間行事計画（案）について

【資料1について事務局説明】

【協議結果】計画案のとおり了承

2 奥越史料第37号の発刊について

【協議結果】3名が執筆。ページ数が不足する場合は、2名が追加で執筆。

【協議】

委員：市民の寄稿は認めるのか。事務局員の執筆は認めるのか。

事務局：過去に寄稿を受けた例はあるが、教育委員会の名で発刊することもあり、内容の精査が必要になる。寄稿を受ける方法としては、委員の推薦などが考えられるが、進んで募集をしているわけではない。事務局からも過去には発掘調査の報告を寄稿したことがあった。その時に必要との声を受けて寄稿したものと思われる。いずれも、「掲載できない」ということはない。

委員：文化財保護審議会委員以外の方を一人、寄稿者として推薦したい。
後日、本人に打診をして報告をする。

3 県外研修について

【協議結果】岐阜県高山市、美濃市での視察を調整する。

【協議】

事務局：令和6年に金森長近公の生誕500年を迎えることから、関係する土地での研修を提案したい。長近公が幼少期を過ごした滋賀県守山市は令和元年度に研修で訪問していることから、長近公が大野市の次に治めた岐阜県高山市と、晩年を過ごした同県美濃市はどうか。

委員：事務局一任とする。

報告事項

1 文化財関係主要事業について

【資料2について事務局説明】

委員：仏像神像調査とはどういったものか。

事務局：大野市文化財保存活用地域計画に基づいて行うもので、昨年度に所在を把握するためのアンケートを実施し、126件の回答を得た。この回答に基づき、事務局で神像仏像の調査を行い、必要に応じて専門家による詳細調査を行う。

事務局による調査では写真の撮影の他、寸法などの記録をとる。調査の結果は、文化財としての価値の把握の他、盗難被害時に捜索のための資料としての活用も視野に入れている。

委員：令和4年度の埋蔵文化財発掘調査の実績は。

事務局：1件のみ。現在「大手門広場」になっている箇所を整備に先立ち、試掘調査を行った。

委員：景観協議会で大野警察署庁舎の移転計画が出された。同協議会事務局より、県の事業のため埋蔵文化財の把握・調査は福井県教育庁で対応をするため市は関与しないと説明を受けたが、大野市に大規模開発に対応するシステムはないのか。

事務局：「立地適正化計画」に基づき、大規模開発に対して届出を受けているが、民間事業を対象としている。国・県の事業は福井県教育庁埋蔵文化財調査センターで行っている。事前に協議を受けることはないが、試掘や本発掘が行われた場合、報告を受け、結果を共有している。

2 国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」状況調査の結果について

事務局：樹木の環境調査を行ったところ、治療を要すると結果を得た。国

の補助金を活用して対応するにあたり、今年度、文化庁の調査官の現地指導を受ける。

3 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の実施報告について

事務局：一般社団法人大野市観光協会より、当審議会が監修として参画していた「結の故郷」越前大野城の磨き上げによる看板創出事業（観光庁補助事業「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」）が完了した旨が報告された。

その他

1 本願清水イトヨの里運営協議会委員候補者の推薦

事務局：本願清水イトヨの里運営協議会委員の任期が6月30日で満了することに伴い、当審議会に委員候補者の推薦依頼が届いた。

委員：継続して高津委員を推薦する。

2 市指定文化財の公開活用

事務局：市指定文化財「白山山頂出土の山岳信仰遺品」のうち「銅製経筒附法華経残塊」が、石川県立歴史博物館の夏季特別展「いしかわの霊場—中世の祈りとみほとけ—」で出陳されることとなったので、報告する。

令和5年度文化財保護審議会 年間行事計画（案）

《今年度の主な事業》

- ・文化財視察（県外）
- ・奥越史料（第37号）の発刊
- ・勝山・大野合同研修会（開催地：勝山市）
- ・文化財防火査察

月	内 容	備考（前年度）
4月		4/22
5月	5/30 審議会	
6月		6/3（視察）、 6/20
7月		
8月		8/30
9月		
10月	10/ 県外研修	10/13（研修）
11月	11/ 合同研修（?）	11/24（委嘱、合同研修）
12月		
1月	1/ 文化財防火査察	1/24（防火査察）
2月		
3月	3/ 奥越史料発刊	